仕　様　書

１　品名

電動ベッド

２　納入先

納入先	郵便番号	所在地	連絡先
札幌逓信病院	〒005-8798	札幌市南区川沿 14 条 1-5-1	総　務　課 (011)571-3166
横浜逓信病院	〒221-8798	横浜市神奈川区西神奈川 1-13-10	総　務　課 (045)321-4782
東京逓信病院	〒102-8798	東京都千代田区富士見 2-14-23	会　計　課 (03)5214-7158
徳島逓信病院	〒770-8798	徳島市伊賀町 3-19-2	総　務　課 (088)623-8623
福岡逓信病院	〒810-8798	福岡市中央区薬院 2-6-11	総　務　課 (092)741-3315

３　数量等

納入先	数量	構成内容	
札幌逓信病院	４セット	電動ベッド マットレス ベッドサイドレール（２本１組、２種類）	４台 ４枚 ８組
横浜逓信病院	１５セット	電動ベッド（離床センサー含む） マットレス（３種類） ベッドサイドレール（２本１組） ベッドサイドレール（ショートサイズ） 回転式アーム介助バー ベッドサイドテーブル	１５台 １５枚 １５組 １５本 １５本 １５台
東京逓信病院	６０セット	電動ベッド（離床センサー含む） マットレス ベッドサイドレール（２本１組） オーバーベッドテーブル	６０台 ６０枚 ９０組 ６０台
徳島逓信病院	５セット	電動ベッド マットレス ベッドサイドレール（２本１組） 回転式アーム介助バー	５台 ５枚 ５組 ５本
福岡逓信病院	２０セット	電動ベッド マットレス ベッドサイドレール（２本１組）	２０台 ２０枚 ２０組
合計	１０４セット		

３　納入先別（病院別）機能仕様等

⑴ 札幌逓信病院　　別紙１

⑵ 横浜逓信病院　　別紙２

⑶ 東京逓信病院　　別紙３

⑷ 徳島逓信病院　　別紙４

⑸ 福岡逓信病院　　別紙５

４　納入期限

２０１６年２月１９日（金）

５　その他

⑴ 搬入、据付調整

ア　搬入日、設置場所、据付調整方法等については、事前に納入先担当者と打ち合わせの上決定すること。

イ　据付調整時は、納入先担当者の指示する場所に設置し、体裁よく行うこと。

ウ　設置完了後、正常に稼働することを確認するとともに、操作担当者等に操作説明会を行い、引き渡すこと。

なお、操作説明会を実施した際には、説明会の日時、場所、説明者、参加者、説明内容等を記録した説明会報告書（様式適宜）を納入先担当先へ提出すること。

エ　納入先担当者が別途依頼した場合は、本件機器の仕様方法に関する操作説明及び技術的な情報提供を行うこと。

オ　既存品（更改旧製品等）は撤去し、引き取ること。

カ　搬入等に係る詳細については、納入先担当者の指示を受けること。

キ　上記に係る費用については、納入業者の負担とすること。

⑶ 保守

ア　故障発生時は迅速に対応、復旧できる保守及び修繕体制を確立すること。

イ　アフターサービスの保守業者名、住所、電話番号、緊急連絡先、取扱説明書、日常点検方法等を明記した資料を納入先担当者に渡すこと。

ウ　故障発生時の連絡先を明記したシール等を納入機器の適宜の場所に貼付すること。

⑷ 保証

天災その他の不可抗力又は使用者側の故意又は過失による場合を除き、納入期限日から起算して満１年間無償で修理することとし、その旨を記載した保証書等を添付し、納入先担当者に渡すこと。

⑸ その他

ア　納入を完了したときは、納品書を納入先担当者に提出すること。

イ　本件の詳細又は疑義については、事業部門病院管理部調達担当（TEL (03)3504-4347）の指示を受けること。

別紙１

札幌逓信病院　電動ベッド

１　品名及び数量

電動ベッド　４セット

２　構成内容

(1) ベッド本体	４台
(2) マットレス	４枚
(3) ベッドサイドレール（２本１組）	８組（２種類）

３　性能・特性等

以下の要件を満たすこと。

(1) ベッド本体

ア　ベッド本体の寸法は全長 216cm 以下、全幅 96cm 以下、床幅 85cm 以下であること

イ　背上げ、膝上げ、高さが単独で操作でき、３モーター以上で駆動すること

ウ　手元のスイッチボタンにより、背上げは 0～75 度程度、膝上げは 0～30 度程度まで調整可能であること。また、ハイローは最低床高 25cm 程度で可動範囲は 35cm 程度以上あり、調整可能であること。

エ　手元スイッチは容易に操作できるものであること。

オ　ベッドの背上げの角度が手元スイッチの液晶パネル又は他の方法により表示できること。

カ　直径 10cm 以上のキャスターとし、１カ所のステップ操作により４輪同時にロック並びに解除ができること。なお、キャスターロックは足踏み式、ロック解除は跳ね上げ式であること。

キ　ベッドのフレーム構造はスチール製であり、床板は鋼板プレス成型又はスチールメッシュ成形であること。

ク　ベッドの主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングであること。

ケ　乗り降り時の患者負担の軽減のため、ベッドサイドのフレームの中央部分が窪んでいること（センターフレームカット）又はフレームの突出部分の縮小等によって全幅が上記アの仕様に関係なく 93cm 以下であること。

コ　ベッドサイドレール等のオプション製品を取り付けたときにできる隙間については、病院用ベッドのＪＩＳ規格に定められた寸法に準拠すること。

サ　ヘッド・フッドボードは樹脂製又はスチール及び樹脂の混合製であり、清拭消毒が可能であること。ボードは取り外し可能なもので、取り付け時にストッパーがかかること。

シ　ボード色は木目（チェリー系、ミディアム系、ナチュラル系）、グレー系、ピンク系のいずれかであること。

ス　フッドボード側にベッドサイドレールが２本収納できること。

セ　電源プラグはリーク電流やＭＥ機器へのノイズを考慮し、３Ｐプラグを使用すること。

また、電源コードはキャスターによる踏みつけ及び不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外形 9㎜ 以上のケーブルを使用すること。

(2) マットレス

ア　マットレスの全長及び全幅は、ベッド本体の寸法に適合していること。また、厚さは 9cm～12cm 程度であること。

イ　クッション材の素材はウレタンフォーム、カバーの材質は伸縮性ポリウレタンフィルムであること。また、両サイドには安定した端座位姿勢がとれるように固めのウレタンフォームを使用すること。

ウ　納入するベッドの背上げの動きに合わせ、患者のズレを軽減できる構造であること。

エ　カバーは防水性でアルコール及び次亜塩素酸での規定希釈濃度での清拭消毒が可能であること。

オ　制菌加工及び難燃加工を施してあること。

(3) ベッドサイドレール

ア　高さの異なるものを２種類納入することとし、本体の外寸が高さ 50cm 程度、長さ 90～100cm のものを４組、高さ 60cm 程度、長さ 90～100cm のものを４組納入すること。

イ　１台のベッドに対し、４本取り付けることができること。

ウ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装及びによるダブルコーティングとし、色はホワイトアイボリー系とすること。

エ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

オ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

カ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。

別紙２

横浜逓信病院　電動ベッド

１　品名及び数量

電動ベッド　１５セット

２　構成内容

(1) ベッド本体（離床センサー等を含む）	１５台
(2) マットレス	１５枚（３種類）
(3) ベッドサイドレール（２本１組）	１５組
(4) ベッドサイドレール（ショートサイズ）	１５本
(5) 回転式アーム介助バー	１５本
(6) ベッドサイドテーブル	１５台

３　性能・特性等

以下の要件を満たすこと。

(1) ベッド本体

ア　ベッド本体の寸法は全長 216cm 以下、全幅 96cm 以下、床幅 85cm 以下であること。

イ　背上げ、膝上げ、高さが単独で操作でき、３モーター以上で駆動すること。

ウ　手元のスイッチボタンにより、背上げは 0～75 度程度、膝上げは 0～30 度程度まで調整可能であること。また、ハイローは最低床高 25cm 程度で可動範囲は 35cm 程度以上あり、調整可能であること。

エ　手元スイッチは容易に操作できるものであること。

オ　ベッドの背上げの角度が手元スイッチの液晶パネル又は他の方法により表示できること。

カ　直径 10cm 以上のキャスターとし、１カ所のステップ操作により４輪同時にロック並びに解除ができること。なお、キャスターロックは足踏み式、ロック解除は跳ね上げ式であること。

キ　ベッドのフレーム構造はスチール製であり、床板は鋼板プレス成型又はスチールメッシュ成形であること。

ク　ベッドの主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングであること。

ケ　乗り降り時の患者負担の軽減のため、ベッドサイドのフレームの中央部分が窪んでいること（センターフレームカット）又はフレームの突出部分の縮小等によって全幅が上記アの仕様に関係なく 93cm 以下であること。

コ　ベッドサイドレール等のオプション製品を取り付けたときにできる隙間については、病院用ベッドのＪＩＳ規格に定められた寸法に準拠すること。

サ　ヘッド・フッドボードの樹脂製又はスチール及び樹脂の混合製であり、清拭消毒が可能であること。ボードは取り外し可能なもので、取り付け時にストッパーがかかること。

シ　ボード色は木目（チェリー系、ミディアム系、ナチュラル系）、グレー系、ピンク系

のいずれかであること。

ス　フッドボード側にベッドサイドレールが２本収納できること。

セ　電源プラグはリーク電流やＭＥ機器へのノイズを考慮し、３Ｐプラグを使用すること。また、電源コードはキャスターによる踏みつけ及び不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外形 9㎜ 以上のケーブルを使用すること。

ソ　ベッド上の患者の状態（離床、起床等）を検知して通知する離床センサーを装備すること。既設のナースコール設備と中継装置等により接続し、患者の状態をナースコール親機に通知すること。また、ナースコール設備の接続に必要な中継装置等（５台）も併せて納入すること。

タ　離床センサーが外付けになる場合は、患者の離床情報を無線により中継装置等に送信する方式すること。外付けの離床センサーの納入数量はベッド数と同数量とし、ナースコール設備の接続に必要な中継装置については、必要数量を併せて納入すること。

⑵ マットレス

次の３種類の異なるマットレスを指定の数量納入すること

ア　マットレスＡ　　６枚

(ｱ) マットレスの全長及び全幅は、ベッド本体の寸法に適合していること。また、厚さは 7㎝ 程度の薄型であること。

(ｲ) クッション材の素材はウレタンフォーム、カバーの材質は伸縮性ポリウレタンフィルムであること。

(ｳ) 納入するベッドの背上げの動きに合わせ、患者のズレを軽減できる構造であること。

(ｴ) カバーは防水性でアルコール及び次亜塩素酸での規定希釈濃度での清拭消毒が可能であること。

(ｵ) 制菌加工及び難燃加工を施してあること。

イ　マットレスＢ　　７枚

(ｱ) マットレスの全長及び全幅は、ベッド本体の寸法に適合していること。また、厚さは 10㎝ 程度であること。

(ｲ) クッション材の素材はウレタンフォーム、カバーの材質は伸縮性ポリウレタンフィルムであること。また、両サイドには安定した端座位姿勢がとれるように固めのウレタンフォームを使用すること。

(ｳ) 納入するベッドの背上げの動きに合わせ、患者のズレを軽減できる構造であること。

(ｴ) カバーは防水性でアルコール及び次亜塩素酸での規定希釈濃度での清拭消毒が可能であること。

(ｵ) 制菌加工及び難燃加工を施してあること。

ウ　マットレスＣ　　２枚

(ｱ) マットレスの全長及び全幅は、ベッド本体の寸法に適合していること。また、厚さは 12㎝ 程度以上の厚型であること。

(ｲ) クッション材の素材はウレタンフォーム２層以上の構造とし、カバーの材質は伸縮性ポリウレタンフィルムであること。また、両サイドには安定した端座位姿勢がとれるように固めのウレタンフォームを使用すること。

(ｳ) 納入するベッドの背上げの動きに合わせ、患者のズレを軽減できる構造であること。
(ｴ) カバーは防水性でアルコール及び次亜塩素酸での規定希釈濃度での清拭消毒が可能であること。
(ｵ) 制菌加工及び難燃加工を施してあること。

(3) ベッドサイドレール

ア　本体の外寸は高さ 50～60cm、長さ 90～100cm であること。

イ　１台のベッドに対し、４本取り付けることができること。

ウ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングとし、色はホワイトアイボリー系とすること。

エ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

オ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

カ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。

(4) ベッドサイドレール（ショートサイズ）

ア　本体の外寸は高さ 50～60cm、長さ 85cm 程度であること。

イ　下記(5)の回転式アーム介助バーと組み合わせてベッドに装着できること。

ウ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングとし、色はホワイトアイボリー系とすること。

エ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

オ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

カ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。

(5) 回転式アーム介助バー

ア　本体の外寸は高さ 50～60cm、長さ 110～120cm であること。

イ　アーム角度は 0～150 度程度の間で調節でき、介助バーを固定するロック機能を有すること。

ウ　グリップ部は握りやすく、滑りにくい材質を使用していること。

エ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングとすること。

オ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

カ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

キ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。

(6) ベッドサイドテーブル

ア　本体の外寸は高さ 60cm～93cm、幅 80～91cm、天板の奥行 40～45cm あること。高さは 0～30cm 程度の上下調節可能であること。ベッド本体に適応した外寸であること。

イ　テーブルの表面は高温のものを載せても変形・変色のないようダップ樹脂化粧板貼り又はメラミン化粧板貼りとし、表面色はホワイトアイボリー系とすること。縁には緩衝のためソフトエッジを配すること。

ウ　支柱は片側１本のスチール製又はアルミ製とすること。

エ　テーブルの高さ調節のため、支柱にはガススプリングを内蔵し、内パイプ外面及び外パイプ内面の可動部にはスライドレールを設けること。

オ　支柱上部には操作レバーを配し、レバー操作によりテーブルの高さ調節が可能であること。また、下からの力で、テーブルの上昇が可能であること。

カ　脚部分はスチール製として、移動用のキャスター４輪を備えること。

キ　キャスターは直径 3～4㎝で、全輪自在とすること。

別紙３

東京逓信病院　電動ベッド

１　品名及び数量

電動ベッド　６０セット

２　構成内容

(1) ベッド本体（離床センサー等を含む）　６０台

(2) マットレス　６０枚

(3) ベッドサイドレール（２本１組）　９０組

(4) オーバーベッドテーブル　６０台

３　性能・特性等

以下の要件を満たすこと。

(1) ベッド本体

ア　ベッド本体の寸法は全長 216cm 以下、全幅 105cm 以下、床幅 91cm 程度であること

イ　背上げ、膝上げ、高さが単独で操作でき、３モーター以上で駆動すること。

ウ　手元のスイッチボタンにより、背上げは 0～75 度程度、膝上げは 0～30 度程度まで調整可能であること。また、ハイローは最低床高 25cm 程度で可動範囲は 35cm 程度以上あり、調整可能であること。

エ　手元スイッチは容易に操作できるものであること。

オ　ベッドの背上げの角度が手元スイッチの液晶パネル又は他の方法により表示できること。

カ　直径 10cm 以上のキャスターとし、１カ所のステップ操作により４輪同時にロック並びに解除ができること。なお、キャスターロックは足踏み式、ロック解除は跳ね上げ式であること。

キ　ベッドのフレーム構造はスチール製であり、床板は鋼板プレス成型又はスチールメッシュ成形であること。

ク　ベッドの主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングであること。

ケ　ベッドサイドレール等のオプション製品を取り付けたときにできる隙間については、病院用ベッドのＪＩＳ規格に定められた寸法に準拠すること。

コ　ヘッド・フッドボードのパネル部分は木製で、エアマットレスポンプ等の機器を掛けた場合に落下しない形状であり、清拭消毒が可能であること。ボードは取り外し可能なもので、取り付け時にストッパーがかかること。

サ　フッドボード側にベッドサイドレールが２本収納できること。

シ　電源プラグはリーク電流やＭＥ機器へのノイズを考慮し、３Ｐプラグを使用すること。また、電源コードはキャスターによる踏みつけ及び不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外形 9mm 以上のケーブルを使用すること。

ス　ベッド上の患者の状態（離床、起床等）を検知して通知する離床センサーを装備する

こと。既設のナースコール設備と中継装置等により接続し、患者の状態をナースコール親機に通知すること。

セ　離床センサーが外付けになる場合は、患者の離床情報を無線により中継装置等に送信する方式すること。外付けの離床センサーの納入数量はベッド数と同数量とする。

ソ　ナースコール設備の接続に必要な中継装置については、納入場所の病院にあるの既存の中継装置で接続可能な場合は納入する必要はないが、そうでない場合は、ナースコール設備へ接続するために必要な数量を併せて納入すること。

(2) マットレス

ア　マットレスの全長及び全幅は、ベッド本体の寸法に適合していること。また、厚さは10cm 程度であること。

イ　クッション材の素材はへたりにくいウレタンフォーム又はポリエステル、カバーの材質は伸縮性ポリウレタンフィルムであること。

ウ　カバーは防水性で丸洗いができること。

エ　制菌加工及び難燃加工を施してあること。

オ　マットレスの表面と裏面で硬さが異なること。

(3) ベッドサイドレール

ア　本体の外寸は高さ 60cm 程度、長さ 90～100cm であること。

イ　１台のベッドに対し、４本取り付けることができること。

ウ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングとし、色はホワイトアイボリー系とすること。

エ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

オ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

カ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。

(4) オーバーベッドテーブル

ア　本体の外寸は高さ 60cm～100cm、幅 120cm 程度（ベッド幅に適応したサイズ）、天板の奥行 40～45cm あること。高さは 0～30cm 程度の上下調節可能であること。ベッド本体に適合した外寸であること。

イ　テーブルの表面は高温のものを載せても変形・変色のないようダップ樹脂化粧板貼り又はメラミン化粧板貼りとし、表面色はホワイトアイボリー系とすること。縁には緩衝のためソフトエッジを配すること。

ウ　支柱は両側各１本のスチール製又はアルミ製とすること。

エ　テーブルの高さ調節のため、支柱にはガススプリングを内蔵し、内パイプ外面及び外パイプ内面の可動部にはスライドレールを設けること。

オ　支柱上部には操作レバーを配し、レバー操作によりテーブルの高さ調節が可能であること。

カ　脚部分はスチール製として、移動用のキャスター４輪を備えること。ロック機構を内蔵していること。

キ　キャスターは直径 3～4cm で、全輪自在とすること。

別紙４

徳島逓信病院　電動ベッド

１　品名及び数量

電動ベッド　５セット

２　構成内容

(1) ベッド本体	５台
(2) マットレス	５枚
(3) ベッドサイドレール（２本１組）	５組
(4) 回転式アーム介助バー	５本

３　性能・特性等

以下の要件を満たすこと。

(1) ベッド本体

ア　ベッド本体の寸法は全長 216cm 以下、全幅 96cm 以下、床幅 85cm 以下であること

イ　背上げ、膝上げ、高さが単独で操作でき、３モーター以上で駆動すること

ウ　手元のスイッチボタンにより、背上げは 0～75 度程度、膝上げは 0～30 度程度まで調整可能であること。また、ハイローは最低床高 25cm 程度で可動範囲は 35cm 程度以上あり、調整可能であること。

エ　手元スイッチは容易に操作できるものであること。

オ　ベッドの背上げの角度が手元スイッチの液晶パネル又は他の方法により表示できること。

カ　直径 10cm 以上のキャスターとし、１カ所のステップ操作により４輪同時にロック並びに解除ができること。なお、キャスターロックは足踏み式、ロック解除は跳ね上げ式であること。

キ　ベッドのフレーム構造はスチール製であり、床板は鋼板プレス成型又はスチールメッシュ成形であること。

ク　ベッドの主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングであること。

ケ　乗り降り時の患者負担の軽減のため、ベッドサイドのフレームの中央部分が窪んでいること（センターフレームカット）又はフレームの突出部分の縮小等によって全幅が上記アの仕様に関係なく 93cm 以下であること。

コ　ベッドサイドレール等のオプション製品を取り付けたときにできる隙間については、病院用ベッドのＪＩＳ規格に定められた寸法に準拠すること。

サ　ヘッド・フッドボードの樹脂製又はスチール及び樹脂の混合製であり、清拭消毒が可能であること。ボードは取り外し可能なもので、取り付け時にストッパーがかかること。

シ　ボード色は木目（チェリー系、ミディアム系、ナチュラル系）、グレー系、ピンク系のいずれかであること。

ス　フッドボード側にベッドサイドレールが２本収納できること。

セ　電源プラグはリーク電流やＭＥ機器へのノイズを考慮し、３Ｐプラグを使用すること。また、電源コードはキャスターによる踏みつけ及び不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外形 9㎜ 以上のケーブルを使用すること。

(2) マットレス

ア　マットレスの全長及び全幅は、ベッド本体の寸法に適合していること。また、厚さは 10㎝ 程度であること。

イ　クッション材の素材はへたれにくいウレタンフォーム又はポリエステル、カバーの材質は伸縮性ポリウレタンフィルムであること。

ウ　カバーは防水性であること。

オ　制菌加工及び難燃加工を施してあること。

カ　クッションの表面と裏面で硬さが異なること。

(3) ベッドサイドレール

ア　本体の外寸は高さ 50～60㎝、長さ 90～100㎝ であること。

イ　１台のベッドに対し、４本取り付けることができること。

ウ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングとし、色はホワイトアイボリー系とすること。

エ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

オ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

カ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。

(4) 回転式アーム介助バー

ア　本体の外寸は高さ 50～60㎝、長さ 110～120㎝ であること。

イ　アーム角度は 0～150 度程度の間で調節でき、介助バーを固定するロック機能を有すること。

ウ　グリップ部は握りやすく、滑りにくい材質を使用していること。

エ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングとすること。

オ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

カ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

キ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。

別紙５

福岡逓信病院　電動ベッド

１　品名及び数量

電動ベッド　２０セット

２　構成内容

(1) ベッド本体　２０台

(2) マットレス　２０枚

(3) ベッドサイドレール（２本１組）　２０組

３　性能・特性等

以下の要件を満たすこと。

(1) ベッド本体

ア　ベッド本体の寸法は全長 216cm 以下、全幅 96cm 以下、床幅 85cm 以下であること

イ　背上げ、膝上げ、高さが単独で操作でき、３モーター以上で駆動すること

ウ　手元のスイッチボタンにより、背上げは 0～75 度程度、膝上げは 0～45 度程度まで調整可能であること。また、ハイローは最低床高 25cm 程度で可動範囲は 35cm 程度以上あり、調整可能であること。

エ　手元スイッチは容易に操作できるものであること。

オ　直径 10cm 以上のキャスターとし、１カ所のステップ操作により４輪同時にロック並びに解除ができること。なお、キャスターロックは足踏み式、ロック解除は跳ね上げ式であること。

カ　ベッドのフレーム構造はスチール製であり、床板は鋼板プレス成型又はスチ―ルメッシュ成形であること。

キ　ベッドの主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングであること。

ク　ベッドサイドレール等のオプション製品を取り付けたときにできる隙間については、病院用ベッドのＪＩＳ規格に定められた寸法に準拠すること。

ケ　ヘッド・フッドボードの樹脂製又はスチール及び樹脂の混合製であり、清拭消毒が可能であること。ボードは取り外し可能なもので、取り付け時にストッパーがかかること。

コ　フッドボード側にベッドサイドレールが２本収納できること。収納した際にベッドの総幅内にサイドレールの全長が収まること。

サ　電源プラグはリーク電流やＭＥ機器へのノイズを考慮し、３Ｐプラグを使用すること。また、電源コードはキャスターによる踏みつけ及び不用意な引き抜きに対する強度を考慮し、外形 9㎜ 以上のケーブルを使用すること。

シ　ベッドサイドレール等のオプション製品を取り付けたときにできる隙間については、病院用ベッドのＪＩＳ規格に定められた寸法に準拠すること。

(2) マットレス

ア　マットレスの全長及び全幅は、ベッド本体の寸法に適合していること。また、厚さは

10～13cm 程度であること。

イ　エアマットレスであること。

ウ　カバーは防水性で清拭消毒が可能であること。また、取り外し可能なものであること。

エ　制菌加工及び難燃加工を施してあること。

オ　エアポンプを内蔵していること。

カ　マットレスの操作は専用のリモコンで行うことができること。

キ　寝床内の空気を循環する除湿機能及び圧抜き動作が可能なリハビリモードの機能があること。

ケ　クッション材の素材はウレタンフォーム、カバーの材質は伸縮性ポリウレタンフィルムであること。

(3) ベッドサイドレール

ア　本体の外寸は高さ 50～60cm、長さ 80～100cm であること。

イ　１台のベッドに対し、４本取り付けることができること。

ウ　本体枠の主要部分は、電着焼付塗装等及び粉体焼付塗装によるダブルコーティングとし、色はホワイトアイボリー系とすること。

エ　隙間に身体が挟まらないように鋼管を配し、枠組みをすること。

オ　上部両端部の屈曲部の曲率半径を減らし、サイドレール及びボードの隙間へ身体が挟まりにくくすること。

カ　ベッド本体への取付け時の隙間の寸法等についてはＪＩＳ規格に準拠していること。